

定年後の生活に関する意識調査 徳島県

中高年者のふるさと回帰に関する意識調査 徳島県

アンケート&聞き取り調査報告書 (要約)

社団法人徳島県労働者福祉協議会

# 目次

ページ

はじめに	1
総論(徳島文理大学総合政策学部教授 中村昌宏)	1
定年後の生活に関する意識調査	2

調査目的	勤労者の退職後の生活についての意識を把握し、今後の人の移動、地域の活性化、さらには就労支援やUIターン支援といった施策に役立てることを目的とする。
調査対象	徳島県内に居住する勤労者であり主に中高年齢層の方 3,000 名対象
調査方法	各事業所に調査票を送付し、事業所内で配布、記入いただいたものを回収する。
調査期間	平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 1 月 31 日
回収結果	有効回収数 1532 (回収率 51.1%)

中高年者のふるさと回帰に関する意識調査	10
---------------------	----

調査目的	中高年者の定年後の生活に関する意識やUIターンをするための条件を把握し、今後の労働者福祉・UIターンの推進に資することを目的とする。
調査対象	徳島県出身者であり、以下の要件ア.イ.を満たす者 300 名を対象とする。 ア.現在 50 歳代の方 イ.徳島県外に在住している方
調査方法	面談または電話による聞き取り、記入式アンケートの郵送、Web アンケートなど。
調査期間	平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日
回収結果	有効回収数 213 (回収率 71.0%)

UIターン相談窓口	24
-----------	----

## はじめに

2007年、戦後日本の高度経済成長を支えてきた昭和22年から24年生まれの人々の世代の方々が定年退職を迎えます。その数は日本の人口の約5%にあたる約680万人とされています。このうち、徳島県在住の人々の世代の退職者は4万7千人で、本県出身の県外在住退職者推計3万1千人と合わせると、8万人近くの退職者が本県関係者となります。

徳島県でも人々の世代を中心とした退職者の移住を受け入れる動きが出ています。「ふるさと徳島」の活性化施策を推進するため、県内に居住する中高年勤労者、3,000名を対象に、人口移動を含む社会移動の実態、退職後の生活意識についての調査をいたしました。徳島県内でも出身地へUターンしたいと答えた人が7.8%、出身地以外のどこかへIターンしたいと答えた人が4.6%いることがわかりました。併せて、今回は本県出身で関東・中部・関西近辺にお住まいの方々300名を対象に、面談による「聞き取り調査」を実施し、出身地へUターンしたいと答えた人が12.2%、出身地以外のどこかへIターンしたい人が4.7%という結果を得ました。

人々の世代を中心とした退職者の、これまでの豊富な知識や技術・経験を、「ふるさと徳島」の活性化に還元していただきたいと思えます。また、農村漁村で「第二の人生」を送ろうとする志向もあり、徳島移住への受け入れ体制と古里に帰りたくなくなるような施策が今後の重要な課題です。行政と民間が一体となり、市民と力を合わせて、より誇れる「ふるさと徳島」、期待される元気な「ふるさと徳島」にできるよう、今回の調査が反映されることを願っています。

社団法人徳島県労働者福祉協議会会長 澁谷良臣

## 総論

戦後、1947年から49年にかけての第1次ベビーブーム期に生まれた700万人ともいわれる人々の世代が60歳を迎え、大量に退職するようになり、いわゆる「2007年問題」(正しくは2007年以降の問題というべきである)がやかましくいわれるようになった。官庁や企業にとっては退職金の負担が話題となっており、人々の世代が手にする50兆円が個人消費の鍵を握っていてもいい。また、企業における技術の伝承といった問題も大きな課題となってきている。これらの世代の人々をUターン、Iターンの受け皿として名乗りをあげる地方自治体が続出しており、今や企業誘致以上の過熱ぶりを呈している。これら人々の世代が有している技術、マネジメント能力、情報、人脈等は受け入れ側の地方にとって非常に魅力的であり、地域活性化の起爆剤として大きな期待が寄せられている。

さらにこれらの人々にとっては、定年後いかに生きるかという大きなテーマが立ちはだかつており、就業問題、ボランティア活動、趣味やお稽古ごと、学習活動、家族とのふれあい、友人との交流、健康づくりといったさまざまな行動を通して、生きがいを得る機会を持つことができるのであるが、より充実した定年後の生活を社会が、そして行政が支援していくシステムづくりが強く求められている。こうした社会情勢下において、まさにこの度の委託調査は時宜に適ったものであるといえるであろう。

このたびの調査は「定年後の生活に関する意識調査」と「中高年のふるさと回帰に関する意識調査」から成っており、前者は県内の3千人を対象としたアンケート調査を実施し、1532人(回収率51.1%)の有効回答を得ている。後者では主として徳島県出身者の人々の世代300人を対象として聞き取り調査を実施し213人(回収率71%)から有効回答を得ている。これらの回答から得られたデータは今後の地域戦略構築にあたって、大いに役立つものであると確信するものである。いや、必ず活用していただきたい。

徳島文理大学総合政策学部教授 中村昌宏

# 定年後の生活に関する意識調査

全員対象

【あなた自身についてお聞きします】

## 問1 性別

	回答数	%
男性	1132 (	73.9%)
女性	396 (	25.8%)
無効・無回答	4 (	0.3%)
合計	1532 (	100.0%)

## 問2 年齢

	回答数	%
30歳未満	145 (	9.5%)
30～39歳	431 (	28.1%)
40～49歳	449 (	29.3%)
50～54歳	246 (	16.1%)
55～59歳	219 (	14.3%)
60～64歳	28 (	1.8%)
65歳以上	10 (	0.7%)
無効・無回答	4 (	0.3%)
合計	1532 (	100.0%)

## 問3 職業

	回答数	%
会社員	739 (	48.2%)
公務員	612 (	39.9%)
自営業・自由業	8 (	0.5%)
会社役員	36 (	2.3%)
家事専従	0 (	0.0%)
パート・アルバイト	39 (	2.5%)
農林水産業	10 (	0.7%)
無職	4 (	0.3%)
その他	74 (	4.8%)
無効・無回答	10 (	0.7%)
合計	1532 (	100.0%)

【その他】 団体職員、ほか

## 問4 職種

	回答数	%
事務	645 (	42.1%)
営業	138 (	9.0%)
専門・技術	442 (	28.9%)
管理	77 (	5.0%)
サービス・販売	74 (	4.8%)
その他	139 (	9.1%)
無効・無回答	30 (	2.0%)
合計	1545 (	100.8%)

【複数回答あり / N=1532】

【その他】 現業職、教育・研究業、ほか

## 問5 居住地

	回答数	%
徳島市*	606 (	39.6%)
徳島市以外	919 (	60.0%)
無効・無回答	7 (	0.5%)
合計	1532 (	100.0%)

【\*徳島市内の地域】 カッコ内は構成比

中心部	249 (	41.1%)
周辺部	232 (	38.3%)
無効・無回答	125 (	20.6%)

計 606

### 問6 同居の家族

	回答数	%
一人暮らし	131 ( 8.6%)	
夫または妻	1097 ( 71.6%)	
子ども	896 ( 58.5%)	
父母(義理も含む)	605 ( 39.5%)	
兄弟姉妹	69 ( 4.5%)	
その他	37 ( 2.4%)	
無効・無回答	4 ( 0.3%)	
合計	2839 ( 185.3%)	

[複数回答 / N=1532]

[その他] 祖父母、孫、ほか

### 問7 現在お住まいの住居形態

	回答数	%
持ち家(一戸建て)	1127 ( 73.6%)	
分譲マンション	44 ( 2.9%)	
民間賃貸マンション	190 ( 12.4%)	
社宅・公務員住宅	101 ( 6.6%)	
公営住宅	32 ( 2.1%)	
その他	29 ( 1.9%)	
無効・無回答	9 ( 0.6%)	
合計	1532 ( 100.0%)	

[その他] 独身寮、賃貸一戸建て、ほか

### 問8 現在の収入(世帯合計)

	回答数	%
~ 299万円	135 ( 8.8%)	
300万円~ 499万円	460 ( 30.0%)	
500万円~ 699万円	447 ( 29.2%)	
700万円~ 899万円	277 ( 18.1%)	
900万円~	169 ( 11.0%)	
無効・無回答	44 ( 2.9%)	
合計	1532 ( 100.0%)	

### 問9 出身地

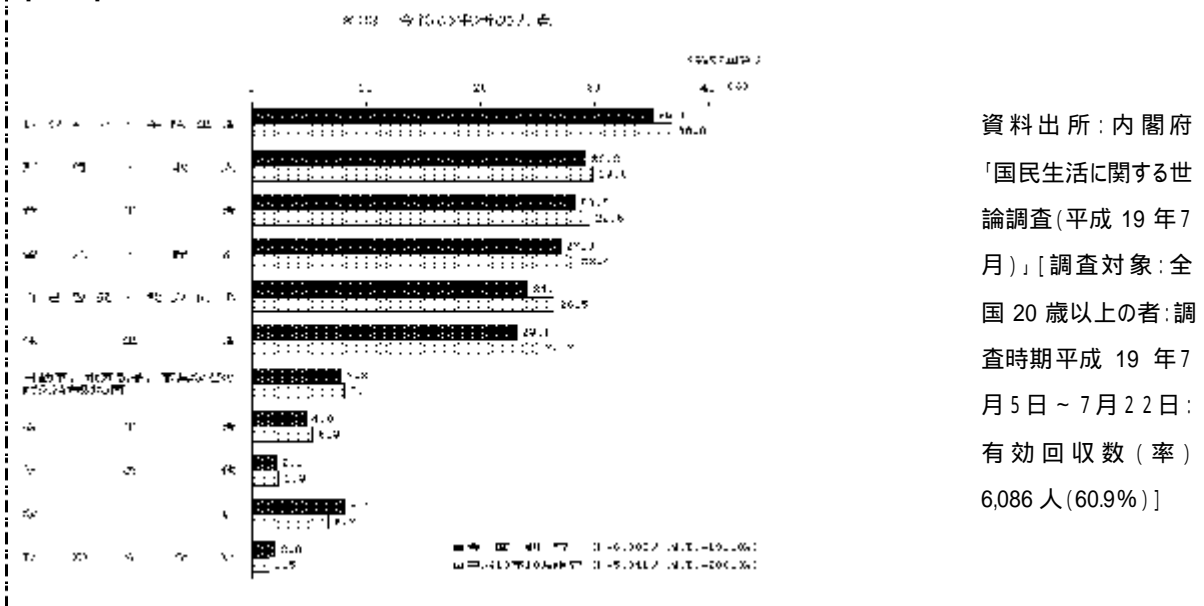
	回答数	%
徳島市*	412 ( 26.9%)	
徳島市以外	980 ( 64.0%)	
県外	127 ( 8.3%)	
無効・無回答	13 ( 0.8%)	
合計	1532 ( 100.0%)	

[\* 徳島市の地域内訳] カッコ内は構成比

中心部	167 ( 40.5%)
周辺部	163 ( 39.6%)
無効・無回答	82 ( 19.9%)

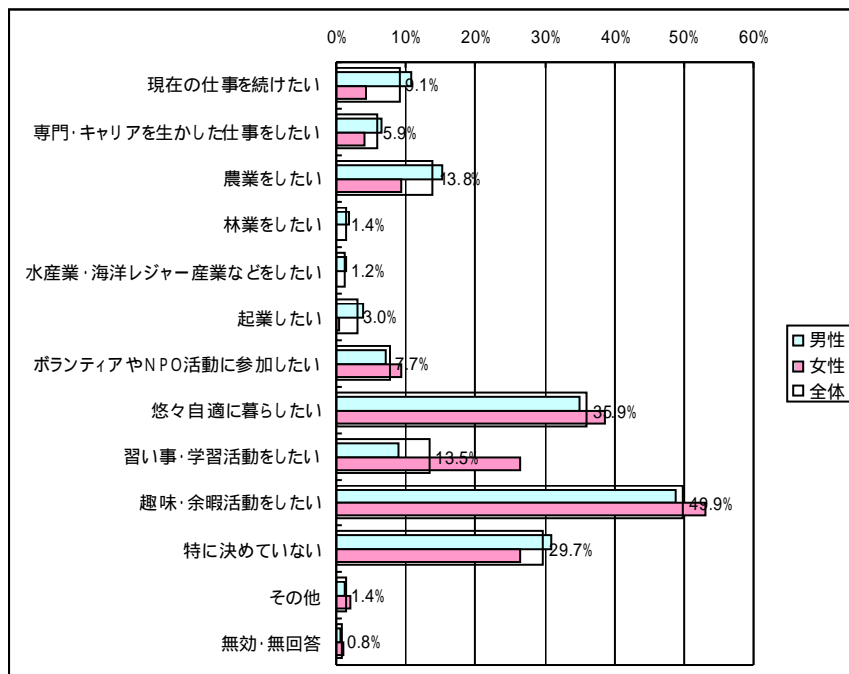
計 412

[参考]



【定年後の暮らし方、居住地についてお聞きします】

### 問10 定年後は、どのような暮らし方をしたいですか？



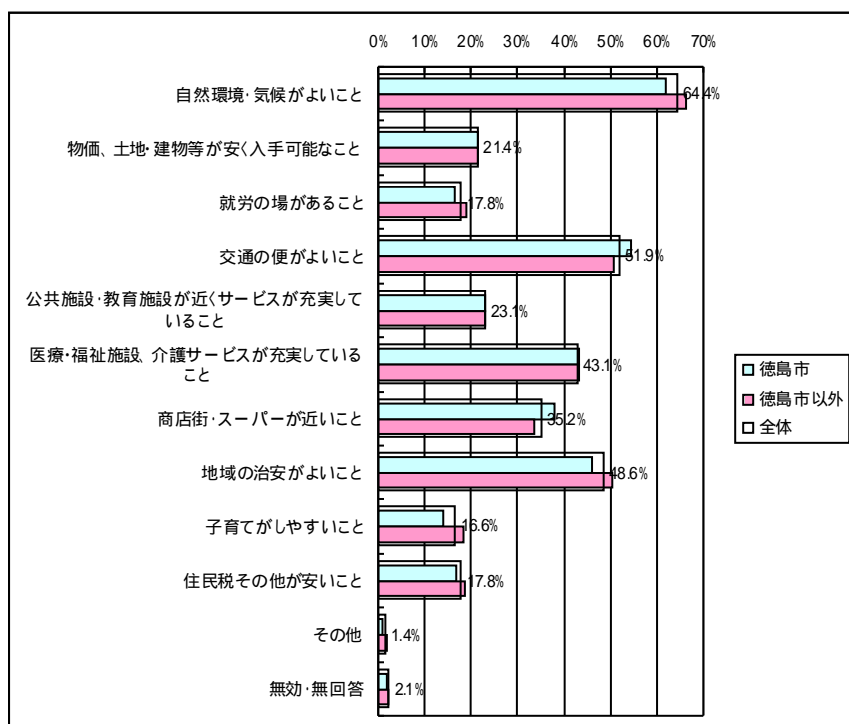
[複数回答 / N=1532]

定年後は「趣味・余暇活動をしたい」49.9%「悠々自適に暮らしたい」35.9%という方が多い。定年後も働くという方は「現在の仕事を続けたい」「専門・キャリアを生かした仕事をしたい」合わせて15.0%あった。

[その他]

孫の面倒を見る、歌手になりたい、田舎暮らし、ほか

### 問11 居住地を決める場合、どのような条件を優先しますか？



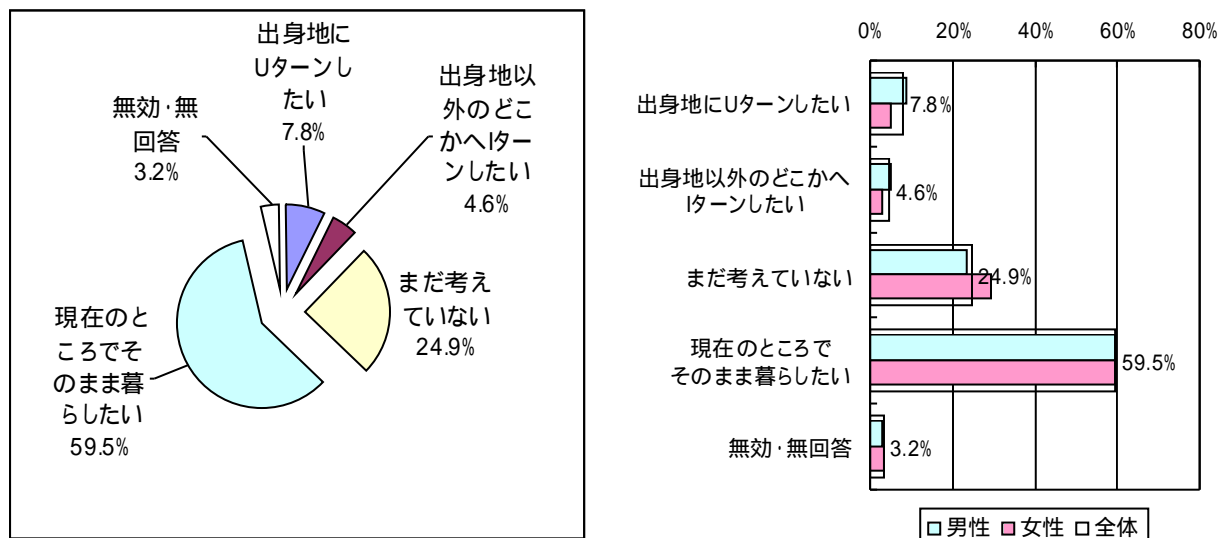
[複数回答 / N=1532]

「自然環境・気候がよいこと」「交通の便がよいこと」が過半数を超えている。「医療・福祉施設、介護サービスが充実していること」「地域の治安がよいこと」もそれぞれ4割を超える回答を得ており、多くの方が住環境に対する条件には厳しいことが窺える。

[その他]

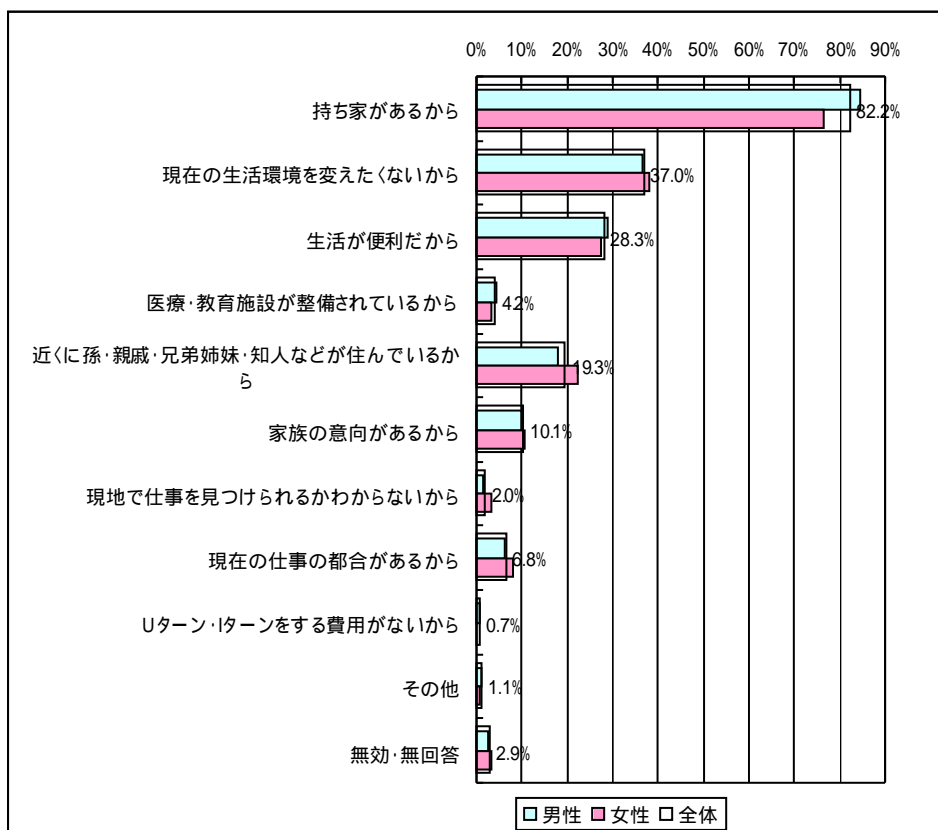
慣れた場所、就労の場に近い、ほか

## 問12 定年後はどこで暮らしたいですか( / 暮らしますか) ?



問12で(4)と回答された方対象

## 問13 「現在のとこでそのまま暮らしたい」理由をお聞かせください。

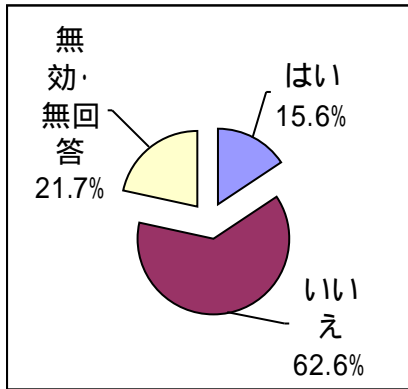


現在のとこでそのまま暮らしたい理由としては、やはり「持ち家があるから」が突出しており82.2%となっている。

[その他]  
環境が良い、生まれ育った町を愛しているから、先祖代々住んでいるから、ほか

[複数回答 / N=961]

### 問14 では様々な障壁が取り除かれれば、Uターン・Iターンをしてみたいですか？



[ / N=961 ]

「現在のところそのまま暮らしたい」方に対し、条件がクリアできればどうかと再質問した。問12と問14を合わせ考えると、1532人中335人の方が「(願望として)U・Iターンしたい」と考えているようだ。

(参考)

問12 定年後はどこで暮らしたいですか？	問14 障壁が取り除かれればU・I ターンをしてみたいですか？	
出身地にUターンしたい		120
出身地以外のどこかへIターンしたい		70
まだ考えていない		381
現在のところそのまま暮らしたい	はい	145
	いいえ	592
	無効・無回答	175
無効・無回答		49
合計		1532

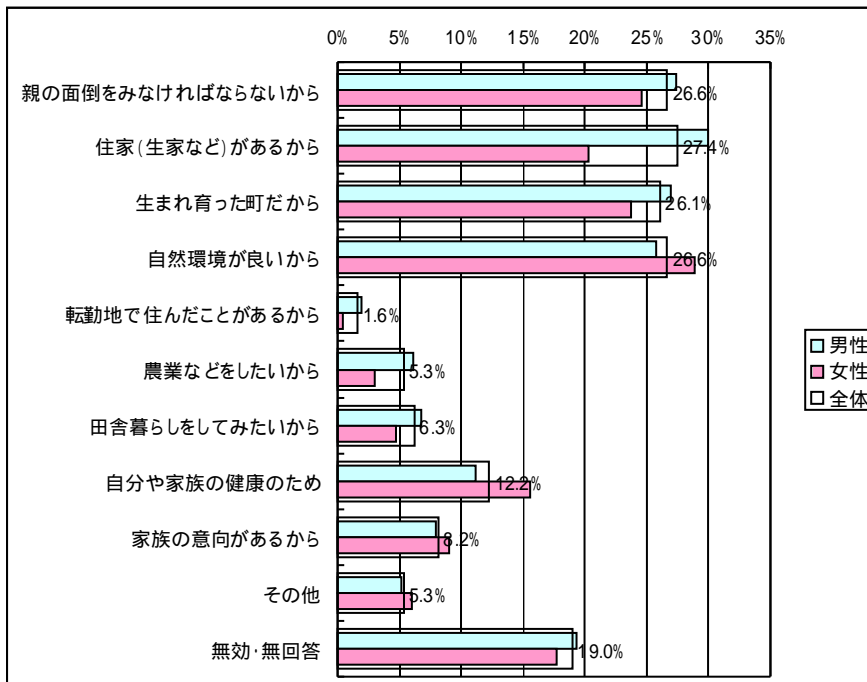
335  
( 21.9% )

問12 問14の無効・無回答に  
配慮した数値

### 全員対象(一部の方は除く)

\* 定年後について「まだ考えていない」方も、もしUターン・Iターンをすればという仮定にて、お答え下さい。

### 問15 どのような理由でUターン・Iターンをしたいと思っていますか？



[ 複数回答 / N=940 ]

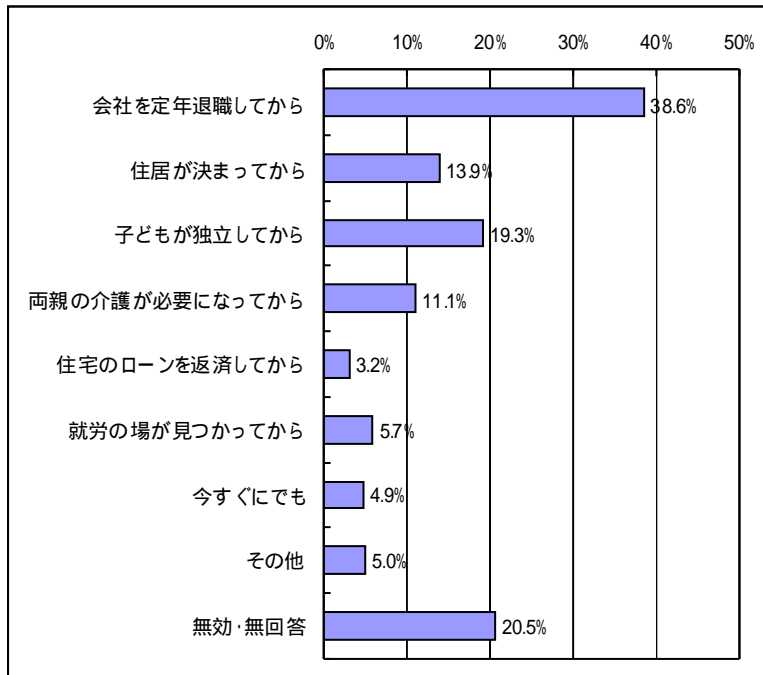
「親の面倒をみなければならないから」「住家(生家など)があるから」「生まれ育った町だから」「自然環境が良いから」の4肢が、それぞれ25%以上の回答を得ている。うち「自然環境が良いから」を除く3肢で男性比率が高い。



[問 15 その他] 現住所地外で住むかも、生活環境を変えたいから、生活に便利な都会に住みたい、まだ考えてない、ほか

[Uターン・Iターンに際しての条件など、具体的にお聞きます]

### 問16 では、いつからUターン・Iターンをしたいと考えていますか？



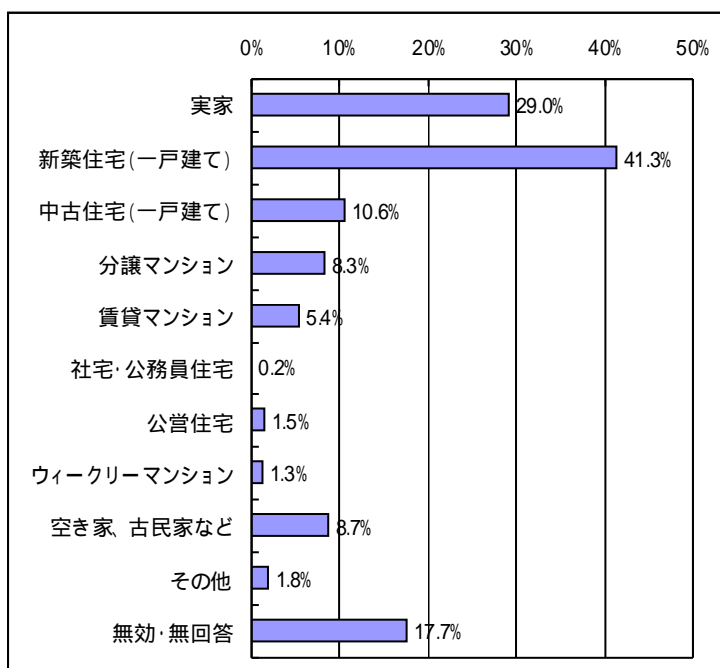
[複数回答 / N=940]

Uターン・Iターンをする時期については、最も多いのが「会社を定年退職してから」で38.6%、次いで「子どもが独立してから」の19.3%となっている。

[その他]

2~3年後、子供が大学に行く頃、親が亡くなってから、金銭的に十分な余裕ができれば、両親の健康、子供の転校、校問題をクリアしたら、ほか

### 問17 どのような住まいに住みたいですか( / 住みますか)？



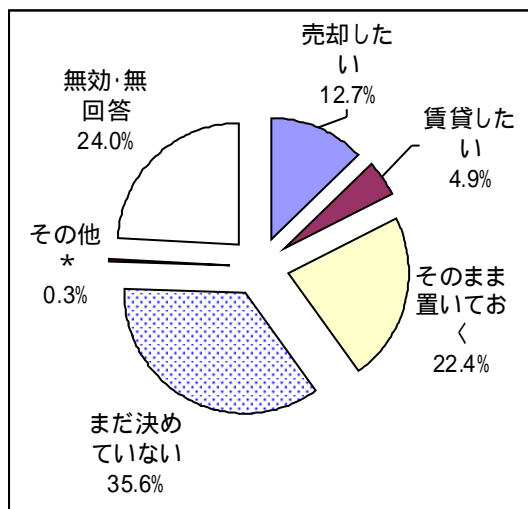
[複数回答 / N=940]

「実家」29.0%と「新築住宅(一戸建て)」41.3%に回答が集中している。「空き家、古民家など」も8.7%あった。

[その他]

里山近くの家、イメージがわからない、別に希望なし、ほか

### 問18 Uターン・Iターンをする際には、現在お住まいの住居はどうされますか？

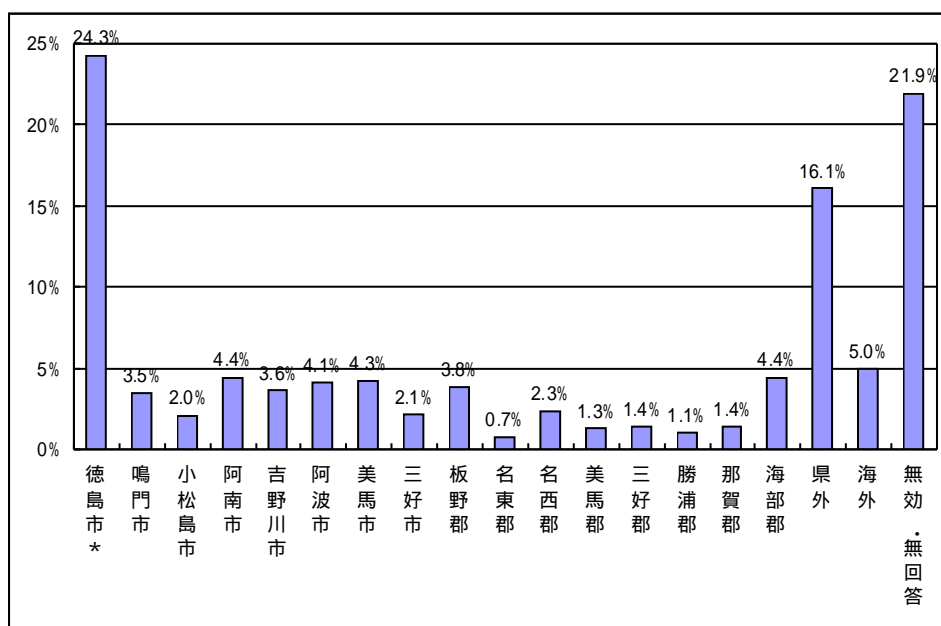


「売却したい」と「賃貸したい」合わせて17.6%ある。他方、「そのまま置いておく」は22.4%ある。

[\*その他]  
アパートの賃貸契約を解約する

[ / N=940]

### 問19 どちらの方へUターン・Iターンしたいですか( / しますか)？



希望するUターン・Iターンの先として、「県外」が16.1%、「海外」が5.0%あった。

[複数回答 / N=940]

#### [\*徳島市内の地域]

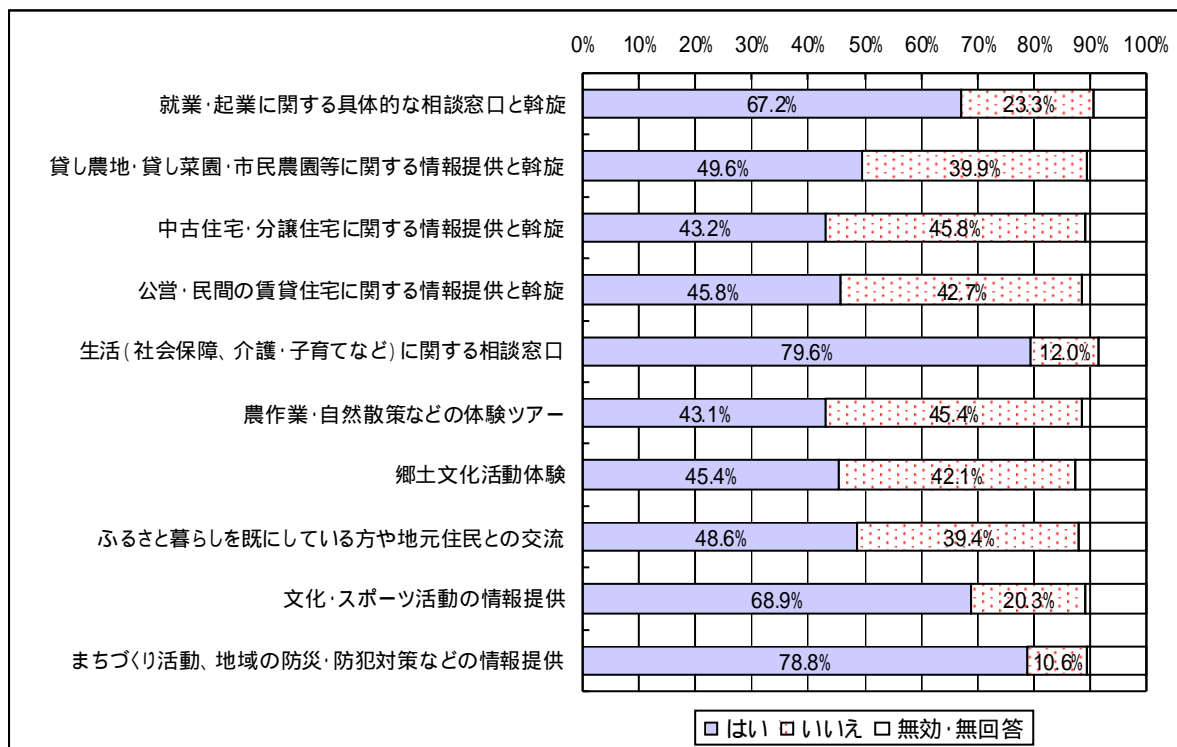
中心部	70	( 30.7% )
周辺部	94	( 41.2% )
無効・無回答	64	( 28.1% )
計	228	

全員対象

[行政の支援についてお聞きします]

## 問20 行政に求める支援を教えてください。

[ ~ それぞれについて横100% / N=1532 ]



約8割の方が、行政支援として「生活(社会保障、介護・子育てなど)に関する相談窓口」「まちづくり活動、地域の防災・防犯対策などの情報提供」を求めている。

また「就業・起業に関する具体的な相談窓口と斡旋」「文化・スポーツ活動の情報提供」も、それぞれ6割を超える方から支援が求められている。

### xi その他行政に望むこと(自由回答)

▶何もかもは、できないと思うので、何か1つ特徴を見つけて取り組んでほしい。▶子育てしながら仕事のできる環境を作って欲しい。▶地域の意見を聞き、実現できる行政。▶福祉に関する情報提供。▶子供等の遊び場所(無料)、公園等を増やす。▶渋滞緩和、公共交通機関の充実。▶情報インフラの整備・拡充(ワセグ受信域の拡大等)。▶合併後もそれぞれの支所で全ての事務やサービスが受けられるように。▶具体的にアッセンしてくれる所。相談だけでは意味がない。▶地域の意見を聞き、実現できる行政を望む。ほか

### 自由意見欄

▶とにかく、充実した定年を迎えられるようにしてほしい。▶住民のための行政を真剣に考えてほしい。ムダをなくし、効率のよい行政を望む。▶IターンとUターンは分けて問うべきだと思います。答えにくい。実家と自宅が近くなのでイメージがわからない。ほか…

# 中高年者のふるさと回帰に関する意識調査

全員対象

【あなた自身についてお聞きします】

## 問1 性別

	回答数	%
男性	103 ( 48.4% )	
女性	108 ( 50.7% )	
無効・無回答	2 ( 0.9% )	
合計	213 ( 100.0% )	

## 問2 年齢

	回答数	%
30歳未満	1 ( 0.5% )	
30～39歳	2 ( 0.9% )	
40～49歳	1 ( 0.5% )	
50～54歳	7 ( 3.3% )	
55～59歳	154 ( 72.3% )	
60～64歳	32 ( 15.0% )	
65歳以上	9 ( 4.2% )	
無効・無回答	7 ( 3.3% )	
合計	213 ( 100.0% )	

## 問3 職業

	回答数	%
会社員	49 ( 23.0% )	
公務員	21 ( 9.9% )	
自営業・自由業	23 ( 10.8% )	
会社役員	18 ( 8.5% )	
家事専従	43 ( 20.2% )	
パート・アルバイト	25 ( 11.7% )	
農林水産業	0 ( 0.0% )	
無職	18 ( 8.5% )	
その他	19 ( 8.9% )	
無効・無回答	3 ( 1.4% )	
合計	219 ( 102.8% )	

[複数回答あり / N=213]

[その他]

医師 …… 1 主婦 …… 2  
 会社顧問 …… 1 大学教員 …… 2  
 ほか

## 問4 職種

	回答数	%
事務	19 ( 8.9% )	
営業	19 ( 8.9% )	
専門・技術	46 ( 21.6% )	
管理	23 ( 10.8% )	
サービス・販売	25 ( 11.7% )	
その他	24 ( 11.3% )	
無効・無回答	62 ( 29.1% )	
合計	218 ( 102.3% )	

[複数回答あり / N=213]

[その他]

教師 …… 5 特別職 …… 1  
 職工 …… 2 保育士 …… 1  
 専業主婦 …… 3 ほか

【編集後記①】真剣に「ここに住んでいて良かった」と実感できる徳島であって欲しいと思います。自然環境を活かし、高齢者になっても安心して暮らせる街づくりが急がれます。県出身で、都会でお住まいの方々に聞き取りをさせていただき、都会と田舎の生活レベルの違いと、とりわけ車の所

有と免許の取得が困難だと交通手段の不便さが指摘され、医療体制や教育・雇用問題の不満と老後の不安が徳島に移住したくない大きな要因でした。(東條)

## 問5 居住地

都道府県市区町村 回答数

関東	1	東京都	町田市	2	愛知県	名古屋市	2	大阪府	東大阪市	2	
茨城県	龍ヶ崎市	1	調布市	1		弥富市	1		南河内郡	1	
栃木県	足利市	1	東久留米市	1	三重県	鈴鹿市	1		八尾市	2	
	鹿沼市	1	東村山市	3	京都府	綾部市	1		富田林市	1	
埼玉県	さいたま市	1	板橋区	2		京都市	1		豊中市	3	
	越谷市	1	品川市	1	滋賀県	相楽郡	2		北区	1	
	狭山市	1	府中市	1	大阪府	彦根市	1		枚方市	4	
	春日部市	5	練馬区	3		茨木市	1		箕面市	3	
	川越市	2	神奈川県	横須賀市	1		羽曳野市	2		門真市	1
	草加市	1		横浜市	9		河内長野市	2	奈良県	生駒郡	1
	朝霧市	1		海老名市	1		貝塚市	1		大和郡山市	1
	入間市	2		茅ヶ崎市	1		岸和田市	3		奈良市	3
	北葛飾郡	1		川崎市	3		堺市	1	兵庫県	伊丹市	2
	和光市	1		相模原市	1		高石市	1		加古郡	1
東京都	2		藤沢市	2		高槻市	2			加古川市	1
	あきるの市	1	千葉県	浦安市	1		阪南市	1		三木市	1
	葛飾区	1		我孫市	1		堺市	10		神戸市	16
	江戸川区	2		四街道市	1		守口市	1		西宮市	5
	三宅島三宅村	1		市川市	1		住之江区	1		尼崎市	5
	小金井市	1		成田市	1		松原市	1		宝塚市	1
	杉並区	2		千葉市	3		寝屋川市	1		明石市	1
	世田谷区	2		船橋市	2		吹田市	3	和歌山県	和歌山市	2
	青梅市	2		柏市	1		生野区	1	四国		2
	千代田区	1		白井市	2		泉佐野市	1			
	多摩市	2		木更津市	2		泉大津市	1			
	大田区	1	愛知県	豊田市	1		大阪市	18			

都道府県名・市区町村名の記載なし

合計	213 ( 100.0% )
----	----------------

## 問6 同居の家族

	回答数	%
一人暮らし	6 ( 2.8% )	
夫または妻	191 ( 89.7% )	
子ども	130 ( 61.0% )	
父母(義理も含む)	12 ( 5.6% )	
兄弟姉妹	2 ( 0.9% )	
その他	4 ( 1.9% )	
無効・無回答	2 ( 0.9% )	
合計	347 ( 162.9% )	

[複数回答 / N=213]

[その他]

孫 …… 1 ほか

## 問7 現在お住まいの住居形態

	回答数	%
持ち家(一戸建て)	148 ( 69.5% )	
分譲マンション	40 ( 18.8% )	
民間賃貸マンション	5 ( 2.3% )	
社宅・公務員住宅	4 ( 1.9% )	
公営住宅	7 ( 3.3% )	
その他	5 ( 2.3% )	
無効・無回答	4 ( 1.9% )	
合計	213 ( 100.0% )	

[その他]

民間一戸建て借家 …… 1

民間店舗付賃貸住宅 …… 1 ほか

### 問8 現在の収入(世帯合計)

	回答数	%
～299万円	27 ( 12.7% )	
300万円～499万円	36 ( 16.9% )	
500万円～699万円	37 ( 17.4% )	
700万円～899万円	25 ( 11.7% )	
900万円～	72 ( 33.8% )	
無効・無回答	16 ( 7.5% )	
合計	213 ( 100.0% )	

### 問9 出身地

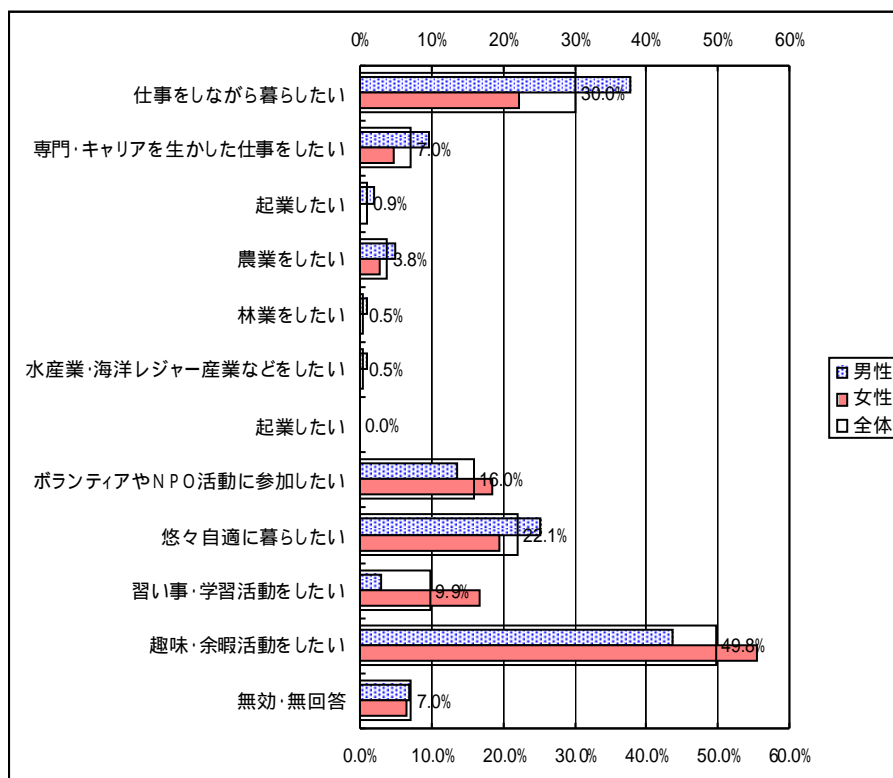
	回答数	%
徳島市*	44 ( 20.7% )	
鳴門市	8 ( 3.8% )	
小松島市	5 ( 2.3% )	
阿南市	80 ( 37.6% )	
吉野川市	5 ( 2.3% )	
阿波市	7 ( 3.3% )	
美馬市	1 ( 0.5% )	
三好市	2 ( 0.9% )	
板野郡	8 ( 3.8% )	
名東郡	3 ( 1.4% )	
名西郡	9 ( 4.2% )	
美馬郡	5 ( 2.3% )	
三好郡	0 ( 0.0% )	
勝浦郡	0 ( 0.0% )	
那賀郡	13 ( 6.1% )	
海部郡	16 ( 7.5% )	
無効・無回答	7 ( 3.3% )	
合計	213 ( 100.0% )	

[ \* 徳島市の地域内訳 ] カッコ内は構成比

中心部	16 ( 36.4% )
周辺部	16 ( 36.4% )
無効・無回答	12 ( 27.3% )
計	44

[定年後の暮らし方、居住地についてお聞きします]

### 問10 どのような暮らし方をしたいですか？



「仕事をしながら・・・」「起業したい」など定年後も仕事をするグループでは男性比率が高い。他方、「習い事・学習活動をしたい」「趣味・余暇活動をしたい」では女性比率が高い結果となった。

[複数回答 / N=213]

『仕事をしながら暮らしたい、専門・キャリアを生かした仕事をしたい』グループ

▷週数回の仕事をこなしながら、旅行、土いじり、ボランティア等をして健康づくりの生活をめざす。(50代後半男性)▷定年後2~3年は仕事をしながら暮らしたい。(50代後半男性)▷仕事(教育・研究)と趣味の生活。(50代後半男性)▷仕事をしながら暮らしたい。体が動かなくなったときの事を考えると便利なところに住みたい。(50代後半女性)▷現在は専業主婦をしているが、夫と二人になったらキャリアを生かした仕事をしたい。(50代後半女性)▷仕事をしたい。趣味(サイクリング・旅行・釣り)を楽しみたい。(60代前半男性)

『起業したい』グループ

▷実家の仕事(家業)をしながら暮らしたい。(50代後半男性)▷主人が定年になり、起業しました。(50代後半女性)▷仕事をしながら暮らしたい。起業したい。(60代後半男性)

『農業・林業をしたい、水産業・海洋レジャー産業などをしたい』グループ

▷山仕事をしたい。趣味・余暇をすごしたい。(50代後半男性)▷水産業に従事できないか?又は専門を生かした起業か?(50代後半男性)▷生活ができる程度の収入ある仕事をしながら。自給自足できる程の農業を、のんびりとした暮らしをしたい。(50代後半男性)▷晴耕雨読の生活をしたい。ボランティアをずっとしていたので、続けて出来ればと思う。(50代後半女性)▷春・夏・秋は地方で畑を耕し、冬は横浜で。(50代後半女性)

『ボランティアやNPO活動に参加したい』グループ

▷専門を活かしたボランティアをしながら悠々自適な生活。都市部と田舎の二面性生活。(50代後半男性)▷親の介護、趣味。ボランティア活動をしたい。(50代後半女性)▷地域での活動に参加し、趣味活動(旅行、読書、音楽関係)をしたい。(50代後半女性)▷習い事をしたい。何か勉強もしてみたい。ボランティア等いろいろやってみたい。趣味や、旅行にも行きたい。(50代後半女性)

『悠々自適に暮らしたい』グループ

▷悠々自適、晴耕雨読の生活を望むも経済的に無理かも。簡単な仕事も考える。(50代後半男性)▷海外と日本を交互に行き来し、生活したい。(50代後半男性)▷すでに家を買ってあるので、そこで暮らしたい。(50代後半女性)▷趣味を生かし楽しみたい。悠々自適に暮らしたい。たまにはボランティアもよし。(50代後半女性)▷4~5年はゆっくり暮らしたい。のんびり暮らしたい。(60代前半男性)

『習い事・学習活動をしたい、趣味・余暇活動をしたい』グループ

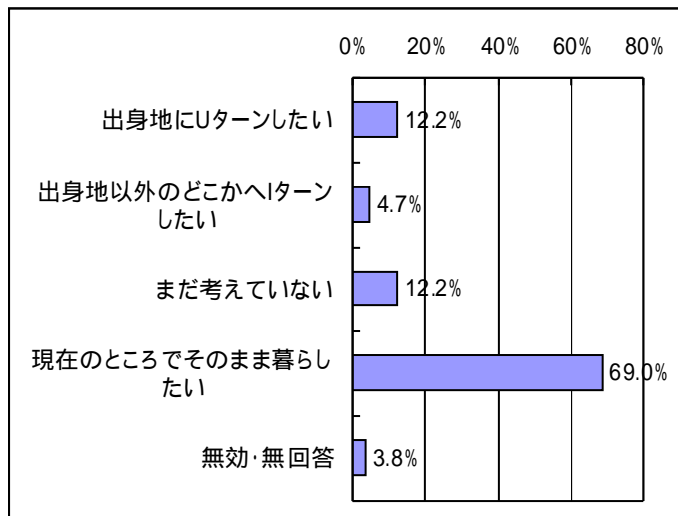
▷趣味の空手、英語を子供達に教える。(50代後半男性)▷心理学を勉強したい。(50代後半女性)▷旅行をしたい。習い事などをしながら。(50代後半女性)▷他国語(中国語)のマスター。(60代前半男性)▷趣味を生かして、指導をしたり、悠々自適に暮らしたい。(60代前半女性)

『いずれにも該当しない』グループ

▷一項目に決め難い。(50代後半男性)▷年金だけでは税金他分が不足するようだ。(60代前半男性)

【編集後記②】徳島を出てから40年あまり。進学、就職し子供を育てあげた世代の現在の姿が、よくあらわれている結果と思う。日本高度成長と共に豊かな中流の生活をいとなんできた人々が残された長い時間をどのように生きて行くか、静かに考える時期でもあるように思う。少子高齢社会、格差拡大が進み経済の停滞にともなう相対的貧困、社会福祉の問題等、山積する現状に「団塊の世代」がどのように取り組んで行くかが今問われているように思う。このアンケートに回答いただいた世帯の6割強が500万円以上の年収である。アンケートにあらわれていない方々の生活もその向こうにあるという事を忘れてはならない。(橋本)

## 問 11 定年後はどちらで暮らしたいですか？( / 暮らしますか？)



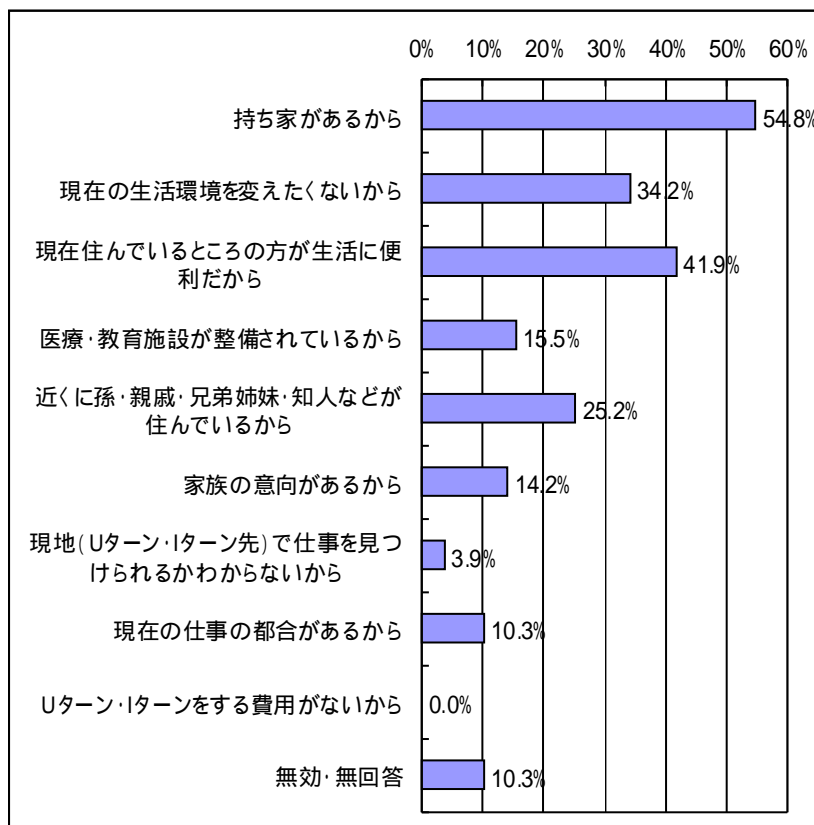
[複数回答あり / N=213]

「出身地にUターンしたい」「出身地以外のどこかへIターンしたい」を合わせると16.9%になる。

P15 男女構成比グラフ

問 11 で(4)を回答された方対象

## 問 12 「現在のところそのまま暮らしたい」理由をお聞かせ下さい。



[複数回答 / N=155]

現在のところそのまま暮らしたい理由は、「持ち家があるから」が54.8%と最多、以下「現在住んでいるところの方が生活に便利だから」41.9%、「現在の生活環境を変えたくないから」34.2%と続く。



ヒアリング内容 & 記述式回答

『持ち家があるから』グループ

▷持ち家があるから。家族は東京が出身地だから。(50代後半男性) ▷持ち家であり、30年間この地で暮らししており、知人、友人も多い。(50代後半男性) ▷持ち家があり、住環境がとても良いから。(50代後半女性)

『生活環境を変えたくないから』グループ-

▷30年以上今の所で生活していて、友人達、近所とも仲良くしているので、現在の生活環境は変えたくありません。(50代後半女性) ▷現在のところの方が楽だから。他に求めても一から人間関係その他を構築する体力もないし自信もない。何よりも今まで考えた事がないから。(50代後半女性) ▷生活基盤(仕事、仲間、家庭(息子達))があり、生活環境を変えたくない為。(60代前半男性)

『生活に便利だから、医療・教育施設が整備されているから』グループ

▷自転車でもどこでも行けるから。病院、図書館、百貨店、美術館等あるので。(50代後半女性) ▷徳島に比べて、すごく田舎ですが、環境がものすごく良いです。大阪にも京都にも電車で、30分で行けますし、当分ここに住むつもりです。(50代後半女性) ▷住み慣れている。友達。便利。(60代前半女性)

『近くに孫・親戚・兄弟姉妹・知人などが住んでいるから、家族の意向があるから』グループ

▷子供達が近くにいること。(50代後半男性) ▷近くに娘達がいるから(休みの日には、孫を遊びにつれていっているから)。(50代後半女性) ▷知り合いもあり、家で庭造りをしたり展望を持てるから。(50代後半女性) ▷現在のところで約25年間生活し、地域社会、友人との関わりが深くなった。(60代前半男性)

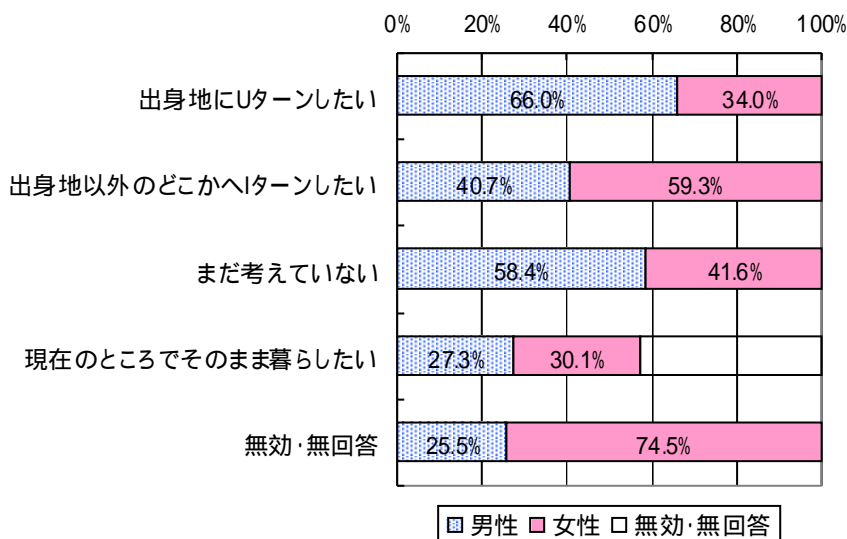
『U・Iターン先で仕事を見つけられるかわからない、現在の仕事の都合があるから』グループ

▷夫の仕事の都合。(50代後半女性) ▷夫が自営業なので、健康な限り現在の仕事ができるから。(50代後半女性)

『いずれにも該当しない』グループ

▷実家は老朽化でおそらく長くは住めない。老後の生活がいっぱいで建て替えの資金もない。(50代後半男性)

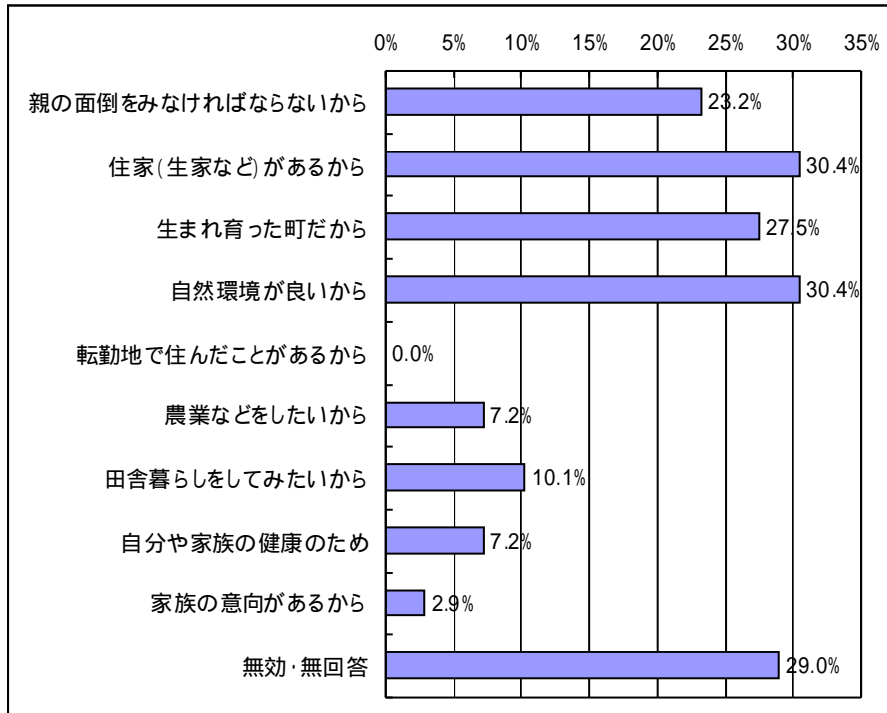
再掲問 11- 男女構成比-



問 11 で (1) ~ (3) と回答された方対象

\* 定年後について「まだ考えていない」方は、もし U ターン・I ターンをするとすればという仮定にて、お答え下さい。

問 13 どのような理由で U ターン・I ターンをしたいと思っていますか？



「親の面倒を  
みななければならないから」「生まれ育った町だから」などの必然的理由以外では、「自然環境が良いから」が 30.4% と U ターンする理由として多い。

[複数回答 / N=69]

ヒアリング内容 & 記述式回答

『親の面倒をみななければならないから』グループ

▷自分の生家で親が住んでいるが、いずれ面倒をみななければならないと思うから。(50 代後半男性) ▷親の面倒をみななければならないから。(50 代後半男性) ▷出来れば現在地で生活したいと思うが、親の面倒をみななければならない事。住家があるので、仕方なく、帰らなくてはならないかと思う。(50 代後半女性) ▷親の面倒をみななければならない。家、田畑もあるから。(50 代後半女性)

『住家(生家など)があるから、生まれ育った町だから』グループ

▷とりあえず実家へ。(50 代後半男性) ▷いつの日か、年に1~2ヶ月、生まれ育った所で暮らしてみたいと思います。(50 代後半男性) ▷生まれ育った町だから。(60 代前半男性) ▷まだ考えていないが年金の範囲内で生活できれば生まれ育ったところで住んでみたい。(50 代後半女性) ▷生まれ育った土地で。しかも、温暖な気候で暮らしやすそうだから。(50 代後半女性)

『U・I ターン先の方が自然環境が良いから』グループ

▷海産物(干物)を作って税金分を稼ぎたい。現在の住居場所では干物は作れないから。(60 代前半男性) ▷現在住んでいる処は、自然又は人的環境が好ましいとは思わないから。(50 代後半女性)

『自分や家族の健康のため』グループ

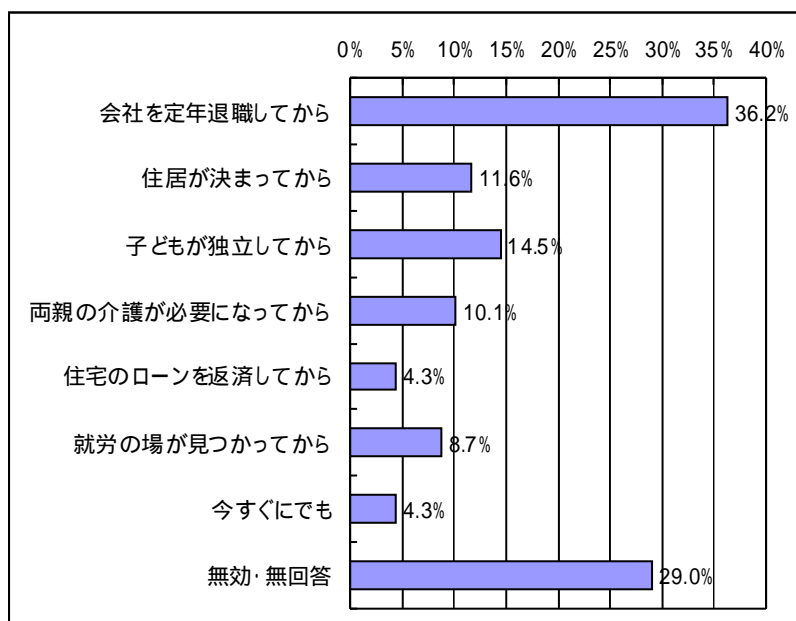
▷都会ではアレルギー喘息になる。空気の良い徳島に帰るつもりです。(50 代後半女性)

『いずれにも該当しない』グループ

▷家と仕事があれば。(50代後半男性) ▷具体的には考えていない。(50代後半男性)

【Uターン・Iターンに際しての条件など、具体的にお聞きます】

## 問 14 いつからUターン・Iターンをしたいと考えていますか？



「会社を定年退職してから」が36.2%で最も多い。「子どもが独立してから」も14.5%あり、両者がUターンする時期として一つの目安となっているようだ。

[複数回答 / N=69]

### ヒアリング内容 & 記述式回答

#### 『会社を定年退職してから』グループ

▷会社を定年退職してから。(50代後半男性) ▷仕事を引退してから。(50代後半男性) ▷親が元気な内は、収入も多い現在の生活を続けたいが、定年後の再就職の際はUターンを考えることもあると思う。(50代後半男性) ▷2年半後。(50代後半女性)

#### 『子どもが独立してから』グループ

▷今すぐにもだが、現実には夫が定年退職をしてから。ある程度子供が独立してから。(50代後半女性) ▷子供が独立してから。(50代後半女性)

#### 『両親の介護が必要になってから』グループ

▷主人の定年が考えの一つだった。親の介護で早まりそう。(50代後半女性)

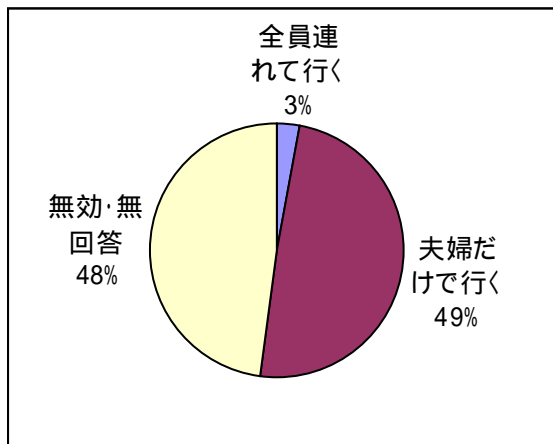
#### 『就労の場が見つかったから』グループ

▷戸主の仕事、居住先等の条件が揃ってから。(50代後半女性)

#### 『いずれにも該当しない』グループ

▷Uターンはできませんが母が元気で居てくれますので年6~7回帰っております。(50代後半女性)

## 問 15 ご家族はどうされますか？



回答肢の制約上、偏った結果となったが、UI ターンする際には「夫婦だけ・・・」で考えている方が圧倒的に多いようだ。自由回答では、仕事などの都合により「自分一人で」UI ターンするという方もいた。

### ヒアリング内容&記述式回答

#### 『全員連れて行く』グループ

▷子供がついて来なければ連れて行くが、その可能性は低い。(50代後半男性)

#### 『夫婦だけで行く』グループ

▷夫婦2人。(50代後半女性) ▷主人の仕事があるので、介護のため、まずは私一人で主人の家に帰らなければならないかと思っている。(50代後半女性)

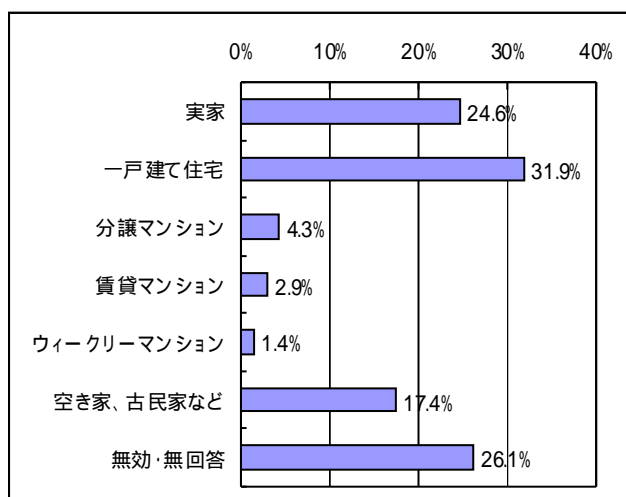
#### 『自分一人で行く』グループ

▷自分だけ行く。(50代後半男性) ▷自分のみ(妻子は大坂で仕事がある)。(50代後半男性)

#### 『いずれにも該当しない』グループ

▷未定。(50代後半男性) ▷その時の状況による。(50代後半女性) ▷しばらくは夫の意向もあり、行ったり来たり生活になる。(50代後半女性)

## 問 16 どのような住まいに住みたいですか？

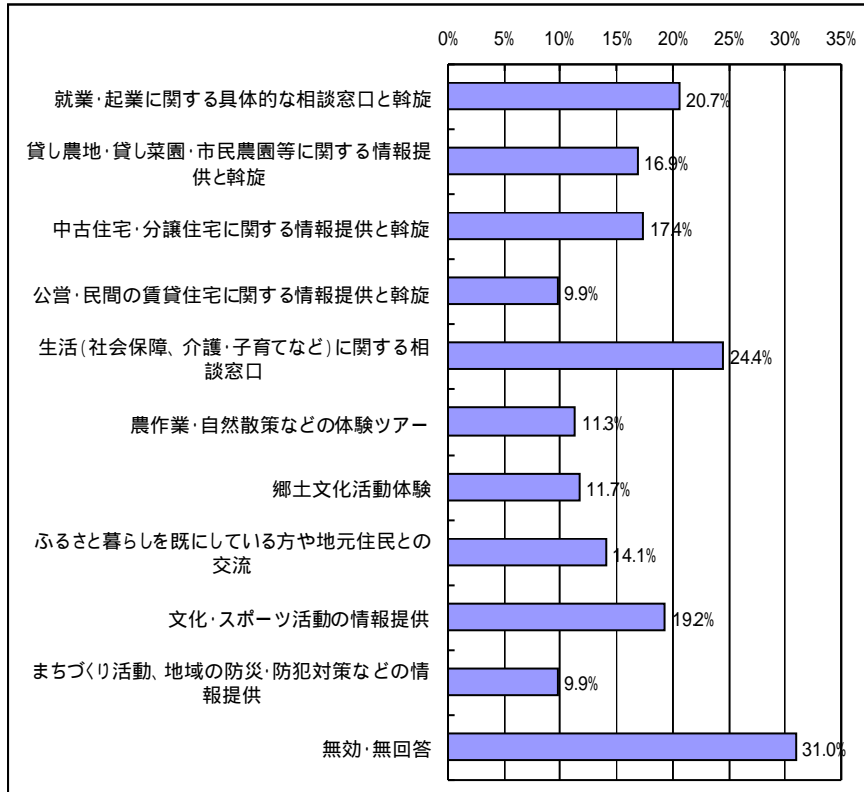


「実家」24.6%と「一戸建て住宅」31.9%に回答が集中した。他方、「空き家、古民家など」も17.4%あり、一定の需要があることがわかる。



【行政の支援についてお聞きます】

## 問 18 どのような行政支援があればよいと思いますか？



[複数回答あり / N=213]

「生活(社会保障、介護・子育てなど)に関する相談窓口」「就業・起業に関する具体的な相談窓口と斡旋」「文化・スポーツ活動の情報提供」がそれぞれ20%前後と多い。

### ヒアリング内容&記述式回答

#### 『就業・起業に関する具体的な相談窓口と斡旋』グループ

▷キャリアを生かす支援(就業の支援)。(50代後半男性) ▷漁業をしてみたいが。(50代後半男性) ▷夫は仕事を見つけないので、相談窓口と斡旋してほしい。(50代後半女性)

#### 『貸し農地・貸し菜園・市民農園等に関する情報提供と斡旋』グループ

▷農業委託先の斡旋。(50代後半男性)

#### 『生活(社会保障、介護・子育てなど)に関する相談窓口』グループ

▷65歳以上の人への優遇制度(交通、医療、福祉、文化面)。(50代後半女性) ▷自立支援法は再考して障害者が安心して暮らせるよう福祉を充実してほしい。(50代後半女性) ▷老後の充実した施設があること。行きとどいた医療施設があること。(50代後半女性) ▷老後も元気に生活している場合は問題ないが、体調を崩したり、孤独になったときにサポートできる福祉の充実を期待します。(60代前半男性)

#### 『文化・スポーツ活動の情報提供』グループ

▷兵庫県内で子供達から老人までを相手に紙芝居&ボランティアとして活動しております。そんな活動が徳島でも出来るような支援があれば。(50代後半男性)

『まちづくり活動、地域の防災・防犯対策などの情報提供』グループ

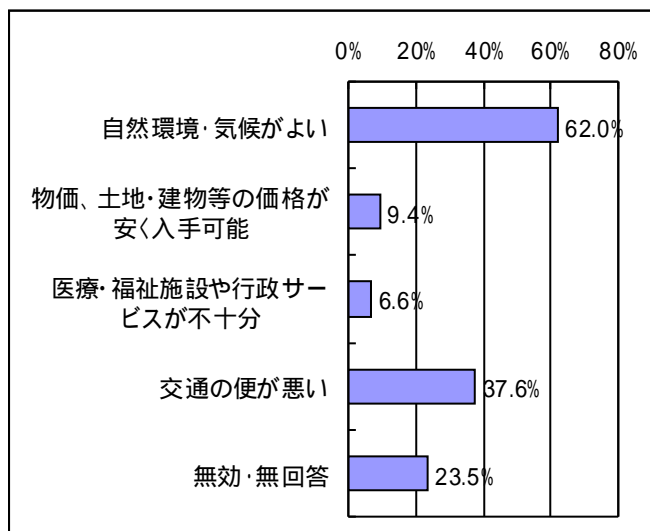
▷町作り活動。地元住民との交流。(50代後半男性)▷地域の行事や地域に変化のあった事(学校の統合、大きな建築物が出来た、温泉が出たなど)ネット等で情報を。田舎を思い出す良い機会になるのでは。(50代後半男性)▷高齢者の生活体験、職業体験を生かせる情報のネットワークづくり支援。一人になっても安心して生活できる支援システム。(60代前半男性)

『いずれにも該当しない』グループ

▷今の時代はインターネットだ。都市と地方との情報交換はインターネットを活用すべきだ。(50代前半男性)▷通信インフラの拡充(特に高速がブロードバンド)。(50代後半男性)▷色々な情報を知らせて欲しい。参加したり協力もしたいから。(50代後半女性)▷大企業の誘致が下手だから、地元の採用も増えない。(50代後半女性)▷回答例がすべてとは言いませんが、ほとんど当てはまっていると思います。(60代前半女性)

【最後にお聞きします】

## 問 19 徳島の良い点と悪い点は、どこだと思いますか？



[複数回答あり / N=213]

徳島に対する良いイメージとして「自然環境・気候がよい」が62.0%、悪いイメージとして「交通の便が悪い」が37.6%という結果となった。

なお、以下の《聞き取り内容とアンケート記入欄》では、集計表にある例示回答4分類のほか、『人情がある、ゆったりしている』、『就職口が無い、産業がない』など回答の多かった意見をグループ化し、分類に加えた。

### ヒアリング内容&記述式回答

『自然環境・気候がよい』グループ

▷人柄、自然環境、八十八ヶ所めぐり。(50代後半男性)▷自然環境が良い。食物が美味しい。土地が安い。(50代後半男性)▷温暖な気候、風土、おだやかな人の気質が良い点。(50代後半男性)▷災害が比較的少なく、温暖な気候である。(50代後半女性)

『物価、土地・建物等の価格が安く入手可能』グループ

▷土地建物等の価格が安い。(50代後半女性)▷物価が安く、食べ物がおいしいです。(50代後半女性)▷人情が細やか、物価が安い。(60代前半男性)

『人情がある、ゆったりしている』グループ

▷ゆったりと言うか、のんびりしている。(50代後半男性)▷阿波っ子の情熱と人情。(50代後半女性)▷人情性

があり、あたたかい。(50代後半女性)

#### 『回顧、懐郷、年に何回かは帰省したい』グループ

▷故郷は遠きにありて想うもの…。(50代後半男性)▷徳島県を離れ約40年、故郷も大きく変わったことだろう。海、山などが懐かしい。(50代後半男性)▷徳島の限らず画一的な開発でだんだん特徴がなくなりつつある。(50代後半女性)

#### 『医療・福祉施設や行政サービスが不十分』グループ

▷環境が良いが、ライフラインが十分でない。(50代後半男性)▷車での生活が欠かせない。老人が身動きできない状況を感じている。買物、病院等、日常生活に不安を感じる。(50代後半女性)▷父母の介護で何十回と帰郷しましたが、海上の2時間は本当に遠いと感じた。町内に安心してかかれる病院が無かった。(60代前半女性)

#### 『交通の便が悪い、帰省費用がかかりすぎる』グループ

▷距離で165km、往復(自家用車で)18,000円程。まだまだ徳島は遠い。(50代後半男性)▷帰省時の交通費(通行料金等)が高い。道路幅が狭い。ノロノロ運転が多い。(50代後半男性)▷実家へときどき帰っています。車が無いと暮らせないのが不便。(50代後半男性)▷年に一度は帰郷していますが、徳島は道路整備が進んでいない(特に旧市街)。歩行者・自転車・車がみな同じ狭い道路を通行している。(50代後半女性)▷交通が不便である。病院、役所、ショッピングモール、スポーツ施設などを循環するバスの設置など考案できないでしょうか?(50代後半女性)▷右へならえ行政が各自治体に昔からありますね。各市町村、独自の行政サービス、自治体事業がどうして生まれないのでしょうか。(50代後半女性)

#### 『就職口がない、産業が少ない』グループ

▷産業がない。地価は低いとは思わない。(50代後半男性)▷働く会社が少ない。若い人にも行きたい会社がない。(50代後半女性)▷就職先が少ない(企業が少ない)。(50代後半男性)▷環境は良いと思う。企業等少ない。(50代後半男性)▷産業がないこと。企業構造を変えて、もっと若い人が仕事に就けるように。(50代後半女性)

#### 『地元の特産物・観光地などの宣伝発信が不十分』グループ

▷観光地・観光物が少なく感じる。一般旅行客なら何日もいられない。(女性)▷出身地として愛着はあるが、特段「徳島でなければ」と言うような特徴がない。(50代後半男性)▷藍染・和三盆等のアピールを。物を大事にしてないように感じる。(50代後半女性)

#### 『保守的・閉鎖的な県民性、県風土』グループ

▷県民性と思われるが貯蓄率が高いと聞く。その貯蓄を使える様、また、観光客が来る様な施設を積極的に作って欲しい。(50代後半男性)▷県民性の「島国根性」が強いやだ!!(50代後半男性)▷日本自体が島国根性。その中で徳島はもっと島国根性丸出しだなと。(50代後半女性)

#### 『文化・芸術などの振興・発達の遅れ』グループ

▷若者が集まる魅力ある施設がない。(50代後半男性)▷企業が少ない。文化施設が余りない。市内に固まっている(いろんな施設が)。(50代後半女性)▷市街地を除き、文化、スポーツ施設が少ない。(60代前半男性)

#### 『いずれにも該当しない』グループ

▷サービス業に携わっている人と口を聞くと気分が悪くなってしまう。(50代後半女性)▷田舎に土地がありますので、いつかログハウスを建てたいです。(50代後半女性)▷隣近所とのかかわり(干渉される)。(60代前半男性)



## 自由意見欄

問 11 の回答により区分

### - Uターンしたい or どちらともいえない -

▷Uターン先の選定のため人間性、財政、サービス等調査中。(50代後半女性)▷生まれ育った土地、父母の墓もあり、出来るならばUターンしたいです。でも現実には住む所もない。(50代後半女性)▷スダチ、わかめ、そうめんなど良いものがあるのですから、もっとPRすべきだと思います。(50代後半女性)▷帰ってきて、地域に入っていけるかが心配。(50代後半女性)▷主人の故郷である高知県に住みたい。(60代前半女性)

### - 現在のところでそのまま暮らしたい -

▷一度都市に住めば、もう地方に戻りたいとは思わない。都会では他人や隣人に気を遣う必要が無いので楽だ。(50代前半男性)▷いつも1年に一回は里帰りしています。いつまでもこの自然を大切に、また文化・企業の誘致等にも力を入れてほしいと思います。(50代後半女性)▷年に3~4回車で往復しております(親の介護のため)。近いうちにUターンかとも思っています。(50代後半女性)▷ここ三年間は徳島へ両親の見守りのために通いました。ずっと生活するには不安を感じます。(50代後半女性)▷テレビで他所のUターンを見ますが、徳島でもあったのですね。帰るつもりは今のところありませんが、うれしい事です。(60代前半女性)▷今、父母が存命ならばUターンしたい気持ちですが、残念ながら足は遠のきつつあります。(60代前半女性)

### - まだ考えていない or 無効・無回答 -

▷両親が亡くなり、徳島に帰ることも少なくなりました。実家に似た様な場所があればいつでも帰りたいです。(50代後半女性)▷私は仕事を辞め2~3ヶ月に一回は帰県して手伝いしています。(50代後半女性)▷徳島に帰ると人あたりが柔らかく、言葉少ない人柄で本音にほっと致します。(50代後半女性)

【編集後記③】今回は、県内調査に加え県外在住の方のヒアリング調査という課題がありました。初めは難航しておりました調査活動も、ご尽力くださった関係者の方や回答にご協力いただいた多くの方のおかげで、無事終わることができました。みなさまに感謝申し上げます。ヒアリング調査ということで通常のアンケート調査には現れない「声」を聞くことができました。面談や電話相手の口調、アンケート用紙に記入された文章の語調から、第二の人生への意欲、生活への不安、ふるさとを懐かしむ感が伝わってきます。本報告書では、この「声」をみなさまに知っていただくため、できるだけその口調・語調を崩さないように注意し、編集・掲載しています。ぜひご一読ください。

本年は「団塊の世代(狭義で47年~49生まれ)」が60歳を迎える年であり、新聞紙面、テレビ報道ではこの言葉を聞かない日は無いくらいです。「団塊の世代」は金融、不動産業のみならず観光、娯楽など多方面からその動向が注目されており、過疎化の進む地方では地域経済を活性化させるリターダとして期待されています。徳島においてもUIターンの推進や定住促進の事業が取り組まれています。しかし徳島はIターン先(移住先)としては不人気なようです。先日の日経新聞記事で、中四国地方の希望する移住先として、1位：四万十市、2位：松山市、3位：高松市...というアンケート結果が載っていました。「徳島へ帰りたい」「ずっと徳島で暮らしたい」と感じるような街づくりを目指さねばなりません。同時に、介護や年金、雇用など大きな課題にも取り組まなければなりません。最後に、県内調査においてもアンケートの回収にご尽力くださった多くの方のおかげで十分な回収数を上げることができました。感謝申し上げます。この調査結果が、UIターン推進、地域活動、さらには高齢者福祉など様々な施策を講じる上での基礎資料として活用されることを願います。(福本)

# U I タ ー ン 相 談 窓 口 の 紹 介

## 分野別相談窓口

分野	担当課	電話番号 / メールアドレス
窓口	市町村課分権推進室 企画振興担当	088-621-2745 shichousonka@pref.tokushima.lg.jp
雇用	雇用能力開発課 雇用対策担当	088-621-2350 koyounouryokukaihatsuka@pref.tokushima.lg.jp
起業	地域経済再生課 経営革新・創業支援担当	088-621-2320 chiiki keizaisaiseika@pref.tokushima.lg.jp
農業	企画管理課 教育・担い手担当	088-621-2422 kikakanrika@pref.tokushima.lg.jp
林業	林業振興課林業再生推進室 事業体担当	088-621-2456 ringyoushinkouka@pref.tokushima.lg.jp

## 農林漁業窓口

名称	〒 / 住所 / TEL / FAX / HPアドレス
[就業相談(農業)] 徳島県立農林水産総合技術支援センター 企画管理室 教育・担い手担当 徳島県新規就業相談センター (徳島県農業会議、徳島県農業開発公社)	〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 TEL 088-621-2427 FAX 088-621-2858 〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地 徳島県林業センター内 TEL 088-621-3054 FAX 088-655-8364 URL <a href="http://www.tokukaigi.or.jp/nf/">http://www.tokukaigi.or.jp/nf/</a>
[就業相談(林業)] 財団法人 徳島県林業労働力確保支援センター	〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地 徳島県森林組合連合会内 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411 URL <a href="http://www.3ocn.ne.jp/~forester/index.html">http://www.3ocn.ne.jp/~forester/index.html</a>
[森林ボランティア] 社団法人 とくしま森とみどりの会	〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL & FAX 088-652-5406 URL <a href="http://www.nmt.ne.jp/~sennennomori/">http://www.nmt.ne.jp/~sennennomori/</a>

資料提供: 徳島県農林環境部地域振興局市町村課

## 県内市町村の相談窓口一覧

市町村名	市町村窓口		市町村HPアドレス
	課室名	電話番号 FAX番号	
徳島市	商工労務課	088-621-5225 088-621-5196	<a href="http://www.city.tokushima.tokushima.jp/">http://www.city.tokushima.tokushima.jp/</a>
鳴門市	企画情報課	088-684-1120 088-684-1336	<a href="http://www.city.naruto.tokushima.jp/">http://www.city.naruto.tokushima.jp/</a>
小松島市	総合政策推進チーム	0885-32-2127 0885-33-3253	<a href="http://www.city.komatsushima.tokushima.jp/">http://www.city.komatsushima.tokushima.jp/</a>
阿南市	企画政策課	0884-22-3429 0884-22-6772	<a href="http://www.city.anan.tokushima.jp/">http://www.city.anan.tokushima.jp/</a>
吉野川市	商工観光課	0883-22-2226 0883-22-2247	<a href="http://www.city.yoshinogawa.lg.jp/">http://www.city.yoshinogawa.lg.jp/</a>
阿波市	総務課	0883-35-4111 0883-35-6080	<a href="http://www.city.awa.lg.jp/">http://www.city.awa.lg.jp/</a>
美馬市	ふるさと振興課	0883-52-8009 0883-53-9919	<a href="http://www.city.mima.lg.jp/">http://www.city.mima.lg.jp/</a>
三好市	まちづくり推進課	0883-72-7607 0883-72-7202	<a href="http://www.city-miyoshi.jp/">http://www.city-miyoshi.jp/</a>
勝浦町	総務税務課	0885-42-2511 0885-42-3028	<a href="http://www.town.katsuura.tokushima.jp/">http://www.town.katsuura.tokushima.jp/</a>
上勝町	産業課	0885-46-0111 0885-46-0323	<a href="http://www.kamikatsu.jp/">http://www.kamikatsu.jp/</a>
佐那河内村	総務企画課	088-679-2113 088-679-2125	<a href="http://www.vill.sanagochi.tokushima.jp/">http://www.vill.sanagochi.tokushima.jp/</a>
石井町	企画財政課	088-674-7501 088-675-1500	<a href="http://www.town.ishii.lg.jp/">http://www.town.ishii.lg.jp/</a>
神山町	産業観光課	088-676-1118 088-676-1100	<a href="http://www.town.kamiyama.lg.jp/">http://www.town.kamiyama.lg.jp/</a>
那賀町	企画情報課	0884-62-1184 0884-62-1177	<a href="http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/">http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/</a>
牟岐町	総務課	0884-72-3413 0884-72-2716	<a href="http://www.mugi.town.jp/">http://www.mugi.town.jp/</a>
美波町	企画調整課	0884-77-3616 0884-77-1666	<a href="http://www.town.minami.tokushima.jp/">http://www.town.minami.tokushima.jp/</a>
海陽町	企画課	0884-73-4156 0884-73-3097	<a href="http://www.town.kaiyo.lg.jp/">http://www.town.kaiyo.lg.jp/</a>
松茂町	総務課	088-699-8710 088-699-6010	<a href="http://www.town.matsushige.tokushima.jp/">http://www.town.matsushige.tokushima.jp/</a>
北島町	生活産業課	088-698-9806 088-698-3642	<a href="http://www.town.kitajima.lg.jp/">http://www.town.kitajima.lg.jp/</a>
藍住町	企画調整課	088-637-3124 088-637-3155	<a href="http://www.town.aizumi.tokushima.jp/">http://www.town.aizumi.tokushima.jp/</a>
板野町	産業課	088-672-5994 088-672-5553	<a href="http://www.planning21.ne.jp/itano/">http://www.planning21.ne.jp/itano/</a>
上板町	総務課	088-694-6801 088-694-5903	<a href="http://www.townkamiita.jp/">http://www.townkamiita.jp/</a>
つるぎ町	企画課	0883-62-3111 0883-62-4944	<a href="http://www.town.tokushima-tsurugilg.jp/">http://www.town.tokushima-tsurugilg.jp/</a>
東みよし町	企画課	0883-82-6302 0883-76-1013	<a href="http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/">http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/</a>

資料提供: 徳島県企画総務部総合政策局

定年後の生活に関する意識調査 - 徳島県 -  
中高年者のふるさと回帰に関する意識調査 - 徳島県 -  
アンケート&聞き取り調査報告書(要約)

2007年10月発行

---

発行人	久積育郎
調査・編集	社団法人徳島県労働者福祉協議会 『中高年者のUIターン推進調査室』 〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113 E-mail tokushima@rofuku.net URL <a href="http://tokushima.rofuku.net/">http://tokushima.rofuku.net/</a>

---

社団法人徳島県労働者福祉協議会

<http://tokushima.rofuku.net/>